

<p>【イベント名】 第11回アジア遠隔医療シンポジウム -2</p>	<p>【概要】 アジア遠隔医療シンポジウムの2日目は、最初に新しいメンバーからの発表のセッションがあり、その後はJSPS早期胃がん研究プロジェクトと技術者ワークショップの2つに分かれて会が進行した。技術者ワークショップでは、マレーシアの4病院から報告がなされ、マラヤ大学の映像音声専門スタッフと、MYRENより、それぞれ遠隔医療教育に必要な映像音声知識や、ネットワーク試験方法についてのハンズオン講義が行われた。</p>
<p>【期日】 2017.12.16</p>	
<p>【会場】 マラヤ大学 (マレーシア), 108 陸軍中央病院 (ベトナム), E ホスピタル (ベトナム), バックマイ病院 (ベトナム), ビエット ドウック 病院 (ベトナム)</p>	



マラヤ大学での会場の様子。

主催者Dr. Hoのあいさつ。

撮影場所：マラヤ大学

撮影場所：マラヤ大学



WHAT TYPE OF MIXER DO TELEMEDICINE NEED?

- Multi connectivity
- Multi format
- Multi Input, atleast 8 inputs
- Simple User Interface
- Small size



エンジニアワークショップの様子。

提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院

撮影場所：九州大学病院



胃がん研究チームの集合写真。



質問する参加者。

撮影場所：マラヤ大学

撮影場所：マラヤ大学